

水産棟移動式粉末消火設備更新仕様書

1. 業務目的

水産棟に設置している第3種移動式粉末消火設備が有効使用期限を迎えるため更新する。

2. 業務場所

(1) 施設名：水産棟

(2) 住所：札幌市中央区北12条西20丁目

3. 業務期間

契約書に示す着手の日から平成30年3月20日まで

4. 業務内容

(1) 小型消火器格納箱付第3種移動式粉末消火設備（52台）を更新する。（別図参照）

- ①既存の据付用基礎（1.0m*0.35m）の範囲内に収めること。
- ②作業は、市場の業務に支障のない休市日に行うこと。
- ③設置にあたっては、必要な耐震・転倒防止性を有すること。
- ④設置にあたり不要となる既存アンカーについては切断することとし、新設アンカーを含め適正本数のアンカーを設置すること。
- ⑤既設の保護ガード等による操作障害を起こさないよう設置すること。
- ⑥自動火災報知設備の発信機、表示灯に操作および視認障害を与えないこと。
- ⑦撤去した既設品は作業終了後当日分をまとめて集積場所へ運搬すること。
- ⑧撤去・更新品は当日の作業分のみを作業場所に配置すること。
- ⑨作業にあたっては保安員を配置するなど事故防止に十分注意して作業すること。
- ⑩作業場所に障害物が無いよう事前に十分打合せを行うものとするが、状況により作業が困難な場合は、日程を変更又は、作業時間を変更して行うこと。
- ⑪既存撤去品の処分にあっては、リサイクルシールを貼付け廃消火器リサイクルシステムの定めに従い処分すること。
- ⑫交換する範囲は、粉末消火器本体のほか収納ボックス及び消火器ボックスとする。

5. 提出書類

(1) 完了時

- ①業務完了届 1部
- ②業務報告書 1部
- ③業務写真 1部

(2) 随時

- ①業務工程表（具体的な作業日時を調整して作成すること）

6. 環境に配慮した業務履行

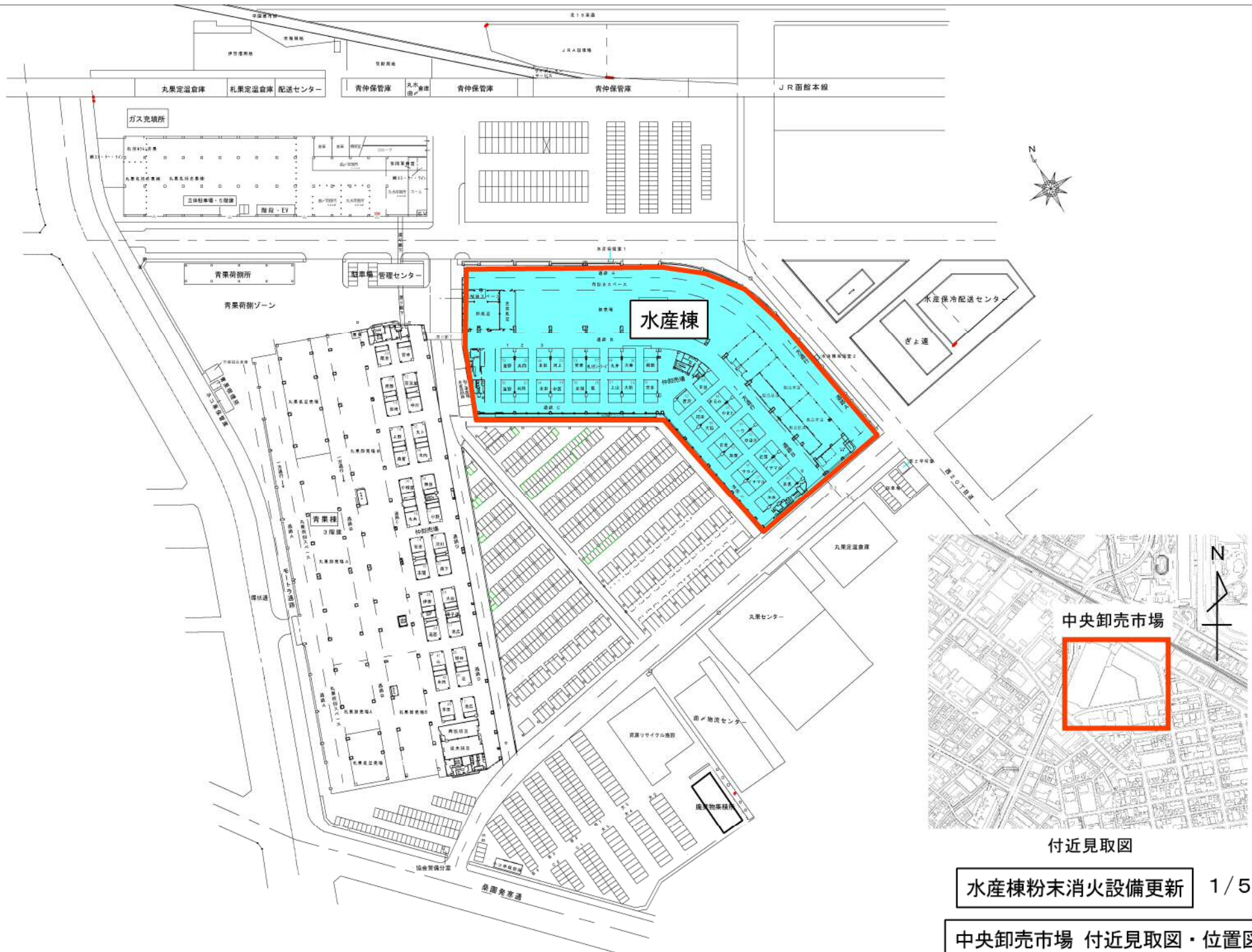
受託者は、札幌市の環境方針の趣旨を理解し履行に努めること。
具体的には以下の事項について積極的に取り込むこと。

取組内容の具体例

取組項目	具体例
自動車利用の抑制	公共交通機関の優先利用、自転車の活用、自動車の相乗り、効率的な輸送手段へ転換（モーダルシフト）、走行ルートの短縮化、共同運行、その他
エコドライブの推進	アイドリングストップの推進、ふんわりアクセルの実施、エアコンの使用抑制、暖機運転の短縮、必要のない荷物を降ろす、日常点検の実施、その他
みどりの推進	事業実施で排出するCO ₂ を吸収・固定(カーボンオフセット)させるため植樹等緑化活動の実施、地域団体の植樹等緑化活動への参加・支援、その他
グリーン購入の推進	必要最小限の購入、環境に配慮した原材料・部品・製品・サービス等の優先的購入・調達、環境配慮に取り組む事業者からの優先的購入・調達、その他
省エネルギーの推進	省電力設備・製品の利用、エネルギーの高度利用（ヒートポンプ、コージェネレーション等）、施設の省エネルギー改修（ESCO事業等）、その他
新エネルギー、自然エネルギーの導入	太陽熱・バイオマス熱・地中熱・雪氷熱等の利用、太陽光発電・風力発電・バイオマス発電等の実施・利用、その他
廃棄物の発生・排出抑制、再使用、再生利用、適正処理	使い捨て商品の利用抑制（詰め替え商品や繰り返し使える製品の選択など）、過剰包装の抑制（包装紙・袋の削減、レジ袋の削減、梱包資材の削減・再使用など）、ごみ分別の徹底、不要となった紙類の資源化、廃棄物の適正処理、その他
環境法令の遵守	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、土壌汚染対策法、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、札幌市生活環境の確保に関する条例等の環境法令の適用確認及びそれら法令に基づく届出提出や規制基準・作業基準の遵守
自然環境の保全	事業に伴うみどりの減少の抑制、その他
環境産業の育成	地産地消の流通・消費拡大、間伐材残材の活用、その他
美化活動の推進	イベントに関わる清掃活動、その他

7. 留意事項

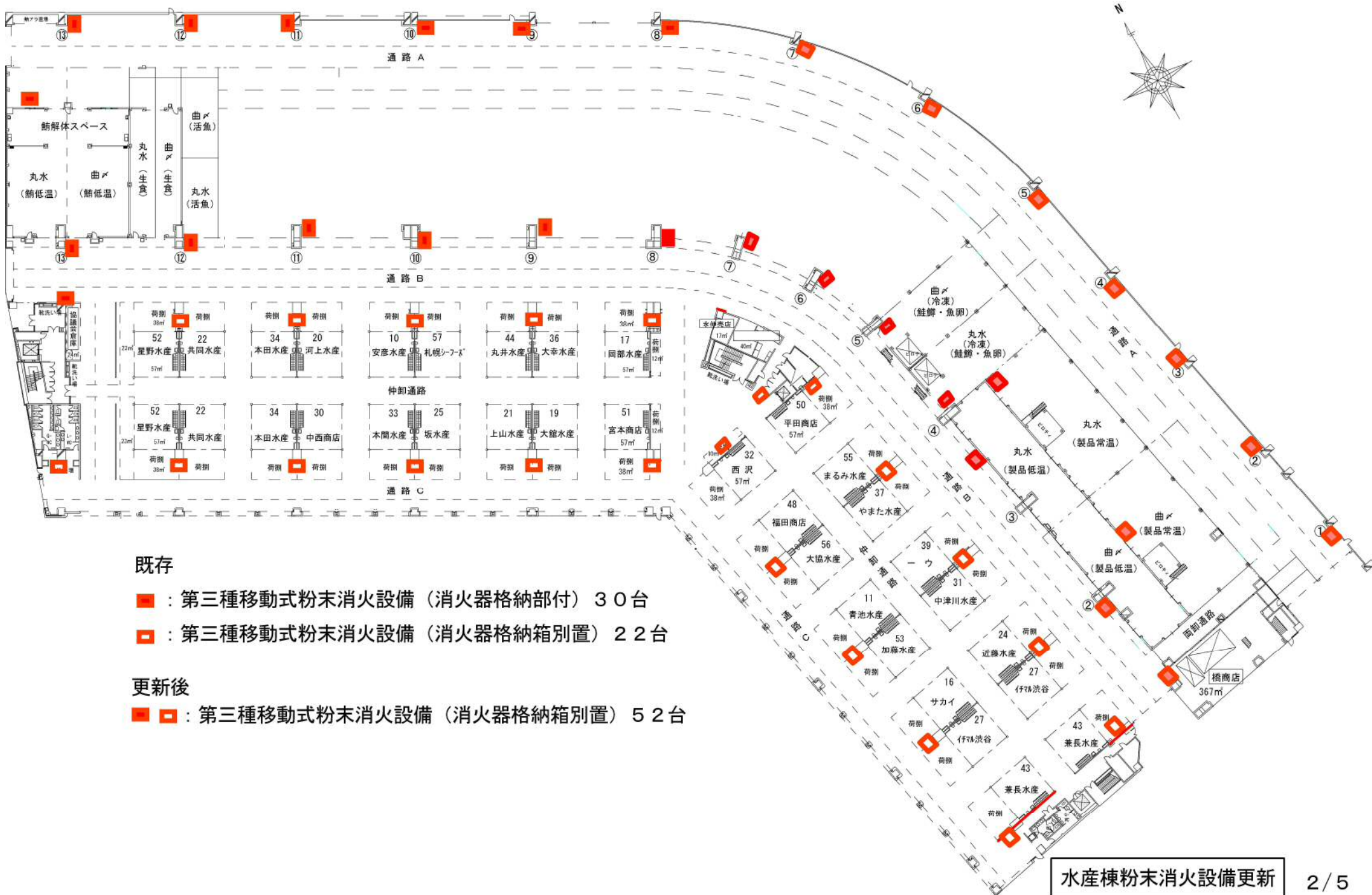
- (1) 業務の実施に必要な機器、工具、消耗品類は受託者負担とする。
- (2) その他疑義等は、業務担当者とは打合せること。



付近見取図

水産棟粉末消火設備更新 1 / 5

中央卸売市場 付近見取図・位置図



移動式粉末消火設備

1. 目的

本消火設備は、屋内・屋外駐車場、自動車整備工場、飛行機格納庫、飛行機整備工場、電気室等、その他、油・電気火災を対象とする場所に設置し、これらの対象物を有効に防護するものです。

2. 構成

本設備は、粉末貯蔵タンク・加圧用ガス容器・ホース・ノズル・クリーニング用ガス容器・格納箱から構成されており、加圧用ガス容器に充填された二酸化炭素ガスを粉末貯蔵タンク内に導入し、そのガス圧力により粉末消火薬剤をホース先端のノズルより放射するものです。

① 概要

全高	1,135mm
最大幅	290mm
奥行	350mm
総質量	約 76kg

◎前面扉上部に表示灯を標準仕様として取り付けています。

② 粉末貯蔵タンク

全高	約 957mm
外径	φ 284mm
内容積	35.0L
消火薬剤充填量	ABC 粉末 33kg
耐圧試験圧力値	3.30MPa
安全装置	3.04MPa

◎タンクは十分な耐圧強度を有し、タンク外面には連結した雑手、放出弁レバー、クリーニング回路、安全装置などが取り付けられており、排気、クリーニング操作ができます。

③ 加圧用ガス容器

規格	ガス容器は、JIS 規格に合格し、高圧ガス保安法に適合されたものを使用。
容量	1.0L×1本
ガス量	660g (二酸化炭素ガス)

④ クリーニング用ガス容器

規格	ガス容器は、JIS 規格に合格し、高圧ガス保安法に適合されたものを使用。
容量	1.0L×1本
ガス量	660g (二酸化炭素ガス)

⑤ 放出弁

型式記号	
型式認定番号	
呼び径	
耐圧試験圧力値	

⑥ ホース及びノズル

ホース	長さ 20m 内径 12.7mm 外径 21.0mm
ノズル	口径 8.0mm 蝶ハンドル (コック) 開閉式

3. 放射性能

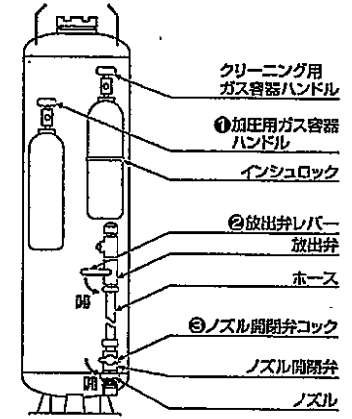
ホースの先端に取り付けられたノズルにより放射するので、次の性能を有しています。	
放射量	28.0kg / min
有効放射時間	約 64 秒
有効距離	8~10m

4. 設置上の注意事項

- (1) 加圧用ガス容器ハンドル (黄色) ①が閉じていることを確認してください。
- (2) 放出弁レバー②が『閉』になっていることを確認してください。
- (3) ノズル開閉弁コック③が『閉』になっていることを確認してください

5. 使用方法

- (1) 加圧用ガス容器ハンドル①を左 (全開) に回す。
- (2) 放出弁レバー②を『開』の位置に下げる。
- (3) ノズル開閉弁からホース部を持ちホースを取り出し、ノズル開閉弁コック③を全開し、火の根元を掃くように消火する。



6. 定期点検

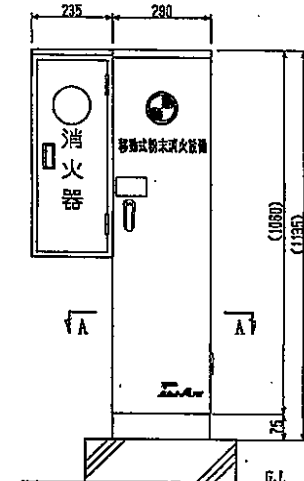
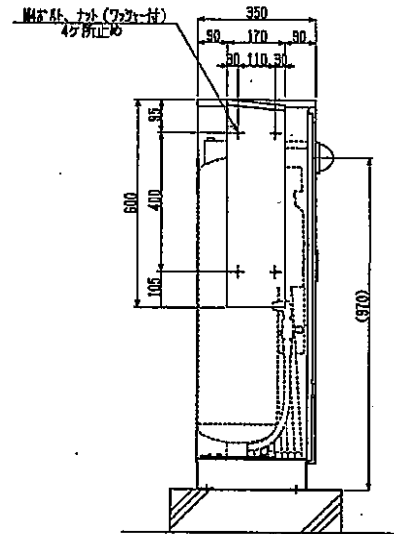
- 法で定められた点検を定期的に行ってください。
●6ヶ月に1回以上の点検は点検資格を有するものに依頼して行ってください。

7. 使用後の処理

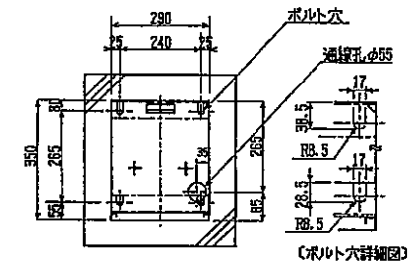
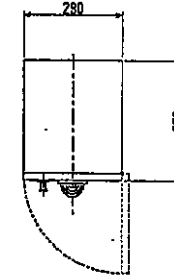
- (1) 排気操作を行ってください。
 1. ノズル開閉弁からホース部を持ち、放出弁レバー②を全開にして、加圧用ガス容器のハンドル (黄色) ①も全開にしてください。
 2. ノズル開閉弁コック③を左に回して開け、粉末貯蔵容器内の残留ガスを排気してください。
 3. 排気後、ノズル開閉弁コック③を右に回して閉じてください。
- (2) クリーニング操作 (排気操作後) を行ってください。
 1. ホースを放出弁から外してください。
 2. クリーニング用ガス容器固定用インシュロックを切って容器を取りはずし、キャップをとってください。
 3. ノズルをノズル開閉弁からははずし、ノズル開閉弁をクリーニング用ガス容器に接続してください。ノズル開閉弁を左に回して全開にしてください。
 4. クリーニング用ガス容器に接続していないホースの先を手で持ち、人にむけないようにして、クリーニング用ガス容器のハンドルをゆっくり開け、ガスを最後まで放出して、ホースをクリーニングしてください。
- (3) 再充てんは必ず消防設備士によって行ってください。
 - 二酸化炭素ガス及び粉末消火薬剤の充てん後は「設置時の状態」を確認してください。
 - ※お水めになった販売店などの専門業者が当社営業所に詰め替えを依頼してください。
- (4) ガス容器を廃棄する場合は、必ず古くなったからといって勝手に捨てるのは危険です。販売店が製造元にご相談ください。絶対に捨てないでください。

粉末消火薬剤仕様書

項目	消火薬剤	粉末薬剤 (ABC) 消火薬剤
型式記号		薬第 21~4 号
組成		リン酸二水素アンモニウム 94.0% 及び硫酸アンモニウム 流動性賦与剤および防湿剤等 6.0%
外観		淡紅色微粉末
粒度		180 マイクロメートル 99.0%以上通過
見掛の比重		0.893g/cm ³
沈降 (水面散布)		1時間以内に沈降しない
吸湿性		2%以下
適応火災		普通火災、油火災、電気火災
備考		

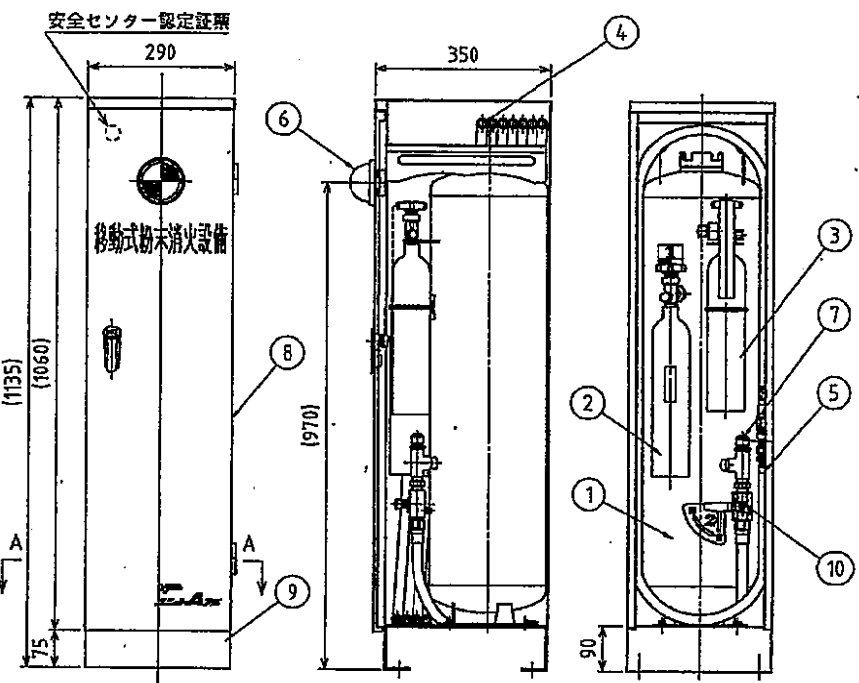
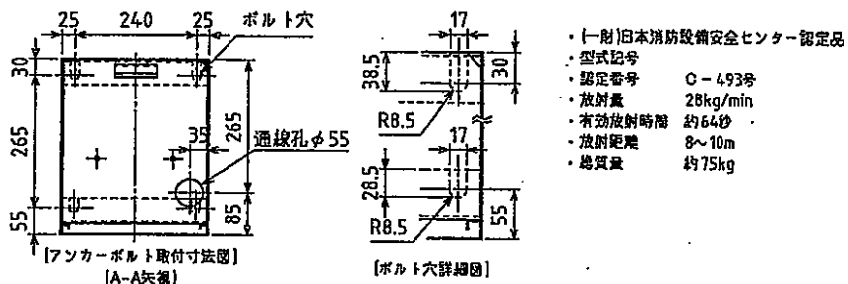


第3種移動式粉末消火設備
(YDA-750G型)
取付用基礎立面図 S=1/15



アンカーボルト取付寸法図 S=1/15
(A-A矢視)

品番	名称	材質	個数	備考
1	粉末貯蔵タンク	SPHC	1	ABC薬剤 33kg
2	加圧用ガス容器	STH12	1	内容積 1.0L/660g (CO2)
3	クリーニング用ガス容器	STH12	1	内容積 1.0L/660g (CO2)
4	ホース	塩化ビニル	1	20m
5	ノズル	C3604B	1	ニッケルクロームメッキ
6	表示灯	ポリカーボネート樹脂	1	
7	安全装置	C3771B	1	設定圧力 3.04MPa
8	格納箱	SECC	1	赤色塗装(旧塗工-07-40X) t=0.8
9	受台	SECC	1	赤色塗装(旧塗工-07-40X) t=3.2
10	放出弁	C3771B	1	



消火器収納ボックス B-1

設置タイプ/スチール製(粉体塗装仕上)(1タイプ)

構造図

材質	スチール(据置きタイプ)(赤色粉体塗装)
備考	粉末10型 1本用

